

可茂農林事務所の普及活動状況（6月）

今月の重点活動

■大豆（白川町） 大豆播種作業終了、奨励品種決定現地調査の実施

白川町では、町内6集落営農組合が大豆生産に取り組み、地元の豆腐加工グループに大豆を供給しています。

5月25日から開始した播種作業は梅雨入り前にほぼ終了し、本年度の作付面積は昨年同様で約25haとなりました。農業普及課では、大豆新品種「里のほほえみ」の岐阜県奨励品種登録検討のための現地調査を実施しています。「里のほほえみ」は昨年も現地調査をしており、収量が高かったことから期待されている品種です。今後、地域適応性や品種特性について把握することとしています。

6月中旬には出芽が揃い、一部のほ場でシカやサルの食害が見られていますが、順調に生育しています。昨年、一昨年と収量減が続いているため、収量アップを図り、実需者へ安定供給ができるよう関係機関と連携して技術支援をしていきます。



大豆播種作業

（地域支援第二係・黒川純子）

新たなブランドづくり

■栗 可児市内で高温対策現地試験を開始

可児市では、昨年度梅雨明け後の高温乾燥により、栗が過去最悪の減収となりました。近年の異常高温に対する対応策を、農業普及課と中山間農業研究所中津川支所と共同で検討することとしました。今年度は、パークたい肥に似た材料でできたマルチ（木材チップたい肥）を栗の根元に敷くことにより、夏季の高温と乾燥を抑制する技術の現地試験を共同で開始しました。

昨年特に被害の大きかった可児市内の栗園において試験ほを6月4日に設置し、今後、生育及び収量調査等を実施予定としています。



【マルチの設置状況】

（園芸産地支援係・宮田洋輔）

売れるブランドづくり

■水稻 ジャンボタニシ（スクリミンゴガイ）対策

6月4日に川辺町の農家から、田植えした稲を食べるジャンボタニシがいるがどうしたらよいかと相談があり、急遽、現地確認を行い、ジャンボタニシと確認しました。

この田は、昨年も発生していた田であり、越冬したものと考えられました。幸いにして、ジャンボタニシのいる田は、この田と隣の田の2枚だけで他に広がっていませんでした。

この結果をもとに農家には、このジャンボタニシがほかの田に広がらないよう、啓発チラシを渡して、至急対応していただくようお願いしました。

農業普及課は、今後もこの田周辺を調査し、これ以上被害を広げないように農家を支援していきます。



【現地確認する普及員】

（地域支援第一係・斉藤政隆）

■小麦 順調に収穫が終了

可茂地域の小麦は「さとのそら」が約25 ha作付されています。農業普及課では、月に2回の生育状況調査を行い、その結果をもとに追肥の実施、病虫害の適期防除時期などの情報を農家に提供してきました。

今年の小麦は、農家の的確な管理が功を奏して順調な生育となり、6月11日から6月19日に収穫が行われました。

収穫量、品質は現在調査中ですが、全体的によい成績が期待されます。

農業普及課としては、引き続き収穫量、品質等の調査を継続し、農家へ結果を説明するなどの支援を行っていきます。



【収穫直前の小麦】

(地域支援第一係・宮地雄二)

■いちご 優良苗育成を支援

6月上旬から令和元年産いちごの採苗が始まりました。昨年11月に導入した親株から、定植に必要な数の優良な子株を取るために、いちご農家の方は育苗管理に余念なく、採苗作業を進めています。

農業普及課では、順調にランナーが発生し、優良な子株が短期間に確保できるように親株の植物体内硝酸イオン濃度（栄養状態の目安）を調査して、育苗の肥培管理を支援しています。

今年の5月は気温が高かったですが、6月は平年並みかやや涼しくなり、いちごの育苗には好都合でした。しかし、涼しい気候で発生しやすい病気の発生が懸念されるため、農業普及課では令和元年産いちごの安定出荷を目指して、今後とも育苗の支援を続けていきます。



【採苗中のハウス内】

(園芸産地支援係・熊澤良介)

■美濃白川夏秋トマト基礎講座

美濃白川夏秋トマト基礎講座は、美濃白川就農応援会議と美濃白川夏秋トマト部会の共催で開催している研修生向けの座学研修会です。研修生は、あすなる農業塾長の元で作業を中心に学ぶとともに、本基礎講座により科学的な根拠を学ぶ事で、作業内容を理論的に理解することができます。

今年は、他品目からトマト生産者に切り替えた新規部会員1名、研修生2名、昨年度中に管理の主軸が若手に切り替わった生産者1名を受講対象者として、第1回を5/17、第2回を6/21に基礎講座を開催しました。講師は可茂農林事務所農業普及課が務め、あすなる農業塾長が講師補助として出席する体制で進めています。

第2回は定植作業・ホルモン処理作業、産地の仕組みについて講義を行いました。



【第2回基礎講座】

(園芸産地支援係・永田真一)